みんゆう随想

渡辺　裕之

福島市・渡辺エンジニアリング
代表取締役

山に魅せられて9

熱中症から漸く解放され、途中の民宿で日帰り健康温泉を楽しんで、広い敷地と充実した施設の道の駅「白沢」で、キャンパー仲間と1泊し、体力回復と明日の「皇海山」に備えて急速充電しました。

不動沢コース登山口までのアクセスは想定外の最悪路で、狭い砂利道に大小の落石がゴロゴロ点在し、キャンパーでの入山は保険屋さん泣かせ。案の定、新品の乗用車が素掘りの側溝に塡まって人力脱出不能SOS。追い越すため鳥肌が立つ谷底から目を逸らし、路肩拡幅の応急工事にひと汗かいて無事通過しました。

2時間遅れの登頂開始となりましたがペースを落とし、天然クーラーの沢沿いを軽快に登り、格好の岩場でゆったり朝食休憩を取り、自然の薫り、色彩と音を堪能、人生の喜びと充実感を満喫しました。

今度は十分に沢水を汲んで、徐々に狭くなる不動沢の源流に向かって進み、最後の急登をよじ登り不動沢のコルに到着し小休止。

比較的登り易い登山道を約1時間で山頂に立ったものの周りの立木で何も見えない皇海山の頂上でした。名前からして素晴らしい眺望への期待が外れ、楽しみは食べることのみ。昨日の脱水症状はすっかり忘れ、食欲も旺盛になり非常食以外は全て平らげました。

隣で中年男が食事をしながら「百名山に入っているから…」とぶつぶつ不満そうなので「ほかにもまだあるよ。恵那山とか。大菩薩など」と声を掛けると、さすが山男、持ち前の人格を取り戻し、山話に花を咲かせ上機嫌になりました。

下山ものんびり3回の沢休憩。「あー。美味しい！」と言葉にして、水の有り難さと、水場無しの登山の差を実感しました。

予定より早く快調に下山しましたが、駐車場に着いて頭痛の林道に苦慮していたら、マウンテンバイクのお兄ちゃんが上がってきて休憩を始めたので、アクションを待って「後からデカイの来ているよ」と露払いを頼みました。

脱輪の新車はそのままだったので、冷蔵庫から缶ジュースを取り出し、気遣いながら慰めました。

石をはね飛ばし木々の枝や伸びきった雑草に擦られて、二度と来たくない栗原川林道を無事通過。奥日光の観望スポットで今回の山旅に感謝し干物とお菓子をつまみに乾杯。夕方まで昼寝タイムを満喫しました。